

幸海小学校のみなさまへ

先日は、「春のふるさと探し」で皆福寺へ来てくれて、また、お手紙をいただき、ありがとうございました。

みんなのお手紙を読ませていただき、私のお話をしつかり聞いてくれていたんだなと思い、大変うれしく思いました。

お寺に来てくれた時にもお話したように、皆福寺は、約八百年前からこの地にあります。八百年もの長い間お寺が続いてきたということは、昔からこの地を大事に思う人達があり、その思いを今まで受け継いできたからこそ、お寺も続いてきました。

今は、新型コロナウイルスが流行し、学校の行事も中止になったり、延期になったりして、とても残念なことがたくさんあります。

過去にこの地に生活していた人達も、いい時ばかりではなく、時にはとても

苦勞する出来事もあつたことと思います。それでも、ここに住んでいる人みんなが、励まし合い、力を合わせて、その苦勞を乗り越えてきたからこそ、今、私たちが住んでいる幸海学区があります。

今回、皆福寺に来てくれたことが、みんなの生まれ育つた地に関心を持ち、親しみを感じられるきっかけになることを願っています。

これからも、体に氣をつけて、勉強に運動に、そして遊びに、元氣よくがんばってください。

そして、幸海学区の新しい未来を作っていただくさい。期待しています。

令和三年五月十六日

皆福寺 住職 石川 仁

